

# 排水対策と適期播種で収量・品質の高位安定を！

令和5(2023)年10月27日

那須農業振興事務所

- 湿害を防ぐため、**必ず排水対策(明きよ設置等)を！**
- **適期に播種**を行い、年内に1回は**麦踏みの実施を！**

## 1 排水対策

近年、降雨日1日あたりの降水量が多くなっています。麦は生育期間を通じて湿害に弱く、収量や品質の低下が起こりやすいので、排水対策を必ず実施しましょう。

### まだまだできる！排水対策のポイント

#### ①表面排水対策

排水溝に接続された明きよ(額縁明きよ)を設置し、多量の雨を迅速に排水する。

#### ②浸透排水対策

プラソイラ等による心土破碎。

※その他、栽培ほ場の団地化なども有効



排水対策未実施ほ場

写真のように、冠水後に慌てて溝を切ることのないよう、事前準備をしましょう



明きよ(額縁明きよ)設置ほ場



明きよ(額縁明きよ)設置の効果  
排水対策未実施の左側ほ場は湛水状態

※排水対策実施によるその他のメリットとして、「ほ場の乾きが早くなり、計画的な麦踏みが可能となる」ことも挙げられます。

## 2 播種時期

年内の生育量を確保するため、適期に播種をしましょう。

### ○播種時期の考え方

年内に 2.5～4.5 葉期(=麦踏み可能)を確保できる時期

⇒**11月1～15日前後**が播種適期

※暖冬が予想されるため



なお、適期外の播種では、以下のようなデメリットが生じる可能性があります。

#### ○早すぎる播種の影響

- ①春先の凍霜害を受けやすい
- ②側面裂皮等の発生増
- ③整粒歩合の低下、等

#### ○遅すぎる播種の影響

- ①凍上害が発生しやすい
- ②整粒歩合の低下
- ③熟期の遅れ、等

### 【参考】 関東甲信地方 3ヶ月予報 (気象庁：R5.10.24 発表)

気温、降水量の各階級の確率 (%)					
気温	関東甲信地方	11月～01月	20	30	50
		11月	20	40	40
		12月	20	40	40
		01月	20	30	50
降水量	関東甲信地方	11月～01月	20	40	40
		11月	30	40	30
		12月	30	30	40
		01月	20	40	40

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

予報では、平均気温は「高い確率50%」、降水量は「平年並または多い確率とも40%」となっています。

### 【参考】 ビール大麦に関する主な作業

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
主な作業	排水対策		播種		麦踏み「3～4回」			赤かび防除		収穫
			2.5 葉期		茎立期		2.5 葉期		成熟期	